

次期計画に向けた主要論点の整理と取り組むべき事項の確認

本資料の目的

1. テーマの整理：今後の検討を効率的に進めるため、資料1の「現在の基本計画の進捗状況と課題まとめ」を個別計画別に集約しました。
2. 現計画における課題を共通認識としてとりまとめ、次回の策定委員会で目指すべき次期計画の方向性について確認します。

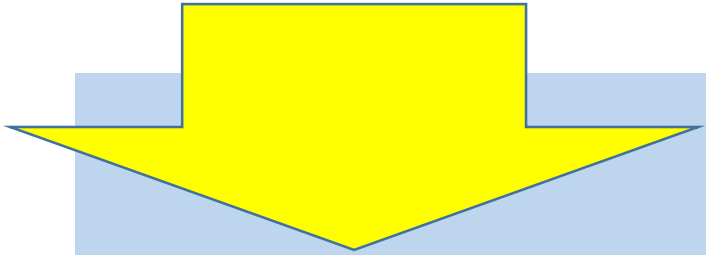
①現在の基本計画の課題（資料1より）

個別計画	現計画の主な課題（建議を含む）
1 発生・排出抑制計画	○リユース（再使用）の促進策のあり方 ○店頭回収など事業者の自主回収を促す取り組みや、家庭の剪定枝、食品ロス、使い捨てプラ等を減量（資源化）する取り組みの推進。 ○事業者の自主回収など、多様な循環の実現
2 資源化計画	○中小事業者を中心とした事業系ごみの適正排出・資源化の推進 ○継続的な分別徹底方策の実施 ○プラスチック資源循環促進法の施行を受けた、プラスチックごみ（製品プラ・容器包装プラ）の分別収集・リサイクルのあり方
3 収集運搬計画	○継続的な収集・運搬体制の維持、ふれあい収集の充実 ○関係者と連携したごみ排出管理・指導体制の維持
4 中間処理計画	○ふじみ衛生組合リサイクルセンターの更新のあり方 ○生ごみや枝・草・葉といった有機性資源の調布市としてのリサイクルのあり方
5 最終処分計画	○現行体制の安定的な維持
6 啓発・推進計画	○引き続き効果的な情報発信、普及啓発、環境学習の推進 ○「ごみ減量・リサイクル協力店」、「調布エコ・オフィス」の各制度の拡充・見直し ○食品ロス・プラスチック削減、環境教育、分別の徹底等、取組課題に応じた市民や事業者の活動支援、連携・協働のあり方の検討
7 し尿処理計画	○未接続者に対する接続の働きかけ
8 その他重要な事項	○計画の効果的な進捗管理と市民・事業者への情報発信 ○適正処理困難物への対応や不法投棄対策の継続 ○SDGs、「ゼロカーボン」の計画への反映のあり方 ○災害廃棄物処理計画の基本計画への位置付け
その他項目にはない項目	

②課題から見えてくるキーワード

- ・リユースの促進
- ・事業者の自主回収の促進
- ・枝・草・葉の資源化・食品ロスの削減・使い捨てプラスチック減量の推進
- ・事業者へのアプローチ
- ・継続的な分別徹底
- ・プラスチック資源循環促進法の施行を受けて
- ・収集・運搬体制の維持
- ・ごみ出し困難者の支援
- ・適正なごみの排出管理
- ・エコセメント化施設、ふじみ衛生組合リサイクルセンターの更新
- ・生ごみなど有機性資源のリサイクル
- ・現行体制の維持
- ・継続的かつ効果的な情報発信、普及啓発、環境学習の推進
- ・事業者への働きかけ
- ・市民及び事業者との連携・協働
- ・環境教育
- ・下水道への100%接続
- ・地球環境への配慮
- ・市民・事業者等の理解と協力
- ・継続的な啓発及びPRの推進
- ・SDGs・ゼロカーボンシティ
- ・計画期間の考え方

③「取り組むべき課題のとりまとめ」へ



③次期計画に反映すべき課題の整理

■現計画から継続・強化すべき課題

○事業者の自主回収の促進

○枝・草・葉の資源化

-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-

■新たな課題（追加）

○ワンウェイ（使い捨て）プラスチック削減及

びプラスチック製品の資源化の推進

○子どもに向けた意識啓発の機会創出

-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-

第3回策定委員会
「論点のまとめと方向性の確認」
（＋「計画期間の検討」）